

介護サービス利用者が活躍する 事業所での実践

日時：令和7年7月26日（土）

13時30分 - 15時00分

社会参加・活躍プロジェクト

1

そもそも「社会参加・活躍」とは？

2

様々なサービス種別での活躍実践事例

3

事業所（地域）での「ハタラク」の始め方

様々なサービス種別での活躍実践事例（地域編）

認知症の人の「はたらく」のススメ ～認知症とともに生きる人の社会参画と活躍～

地域で仕事をつくる作業は、それほど簡単なものではなく、当初はなかなか仕事を見つけることができませんでした。前田さんとメンバーデイサービスを利用する人をBLGではメンバーと呼んでいます。一緒に、地域の会社などを回るうちに、企業の中にも、こういう仕事はお困りであるのではという声も少しずつ出てきました。ホンダの販売店では、展示用の車をメンバーが平日はほぼ毎日訪れ、洗車をしています。以前は、販売店の社員が全てやっていましたが、以前に比べ

には、はたらく場があり、その日取り組む仕事があり、一緒に汗を流す仲間が必要と考えたんです。本当に地域や社会に役立つ仕事をしたという気持ちから出発すると、仕事の真似事をするのではなく、地域の企業などから仕事をとってくるという流れになりました。」



代表の前田隆行さん



兼務用玉ねぎの皮むき



元障木職人による門松づくり

人員も少なくなり、BLGのメンバーが洗車をしてくれると非常に助かると言います。この活動に対して、全体として月2万円の謝礼が支払われています。（介護保険制度上は、社会参加活動の有人員も少なくなり、BLGのメンバーが洗車をしてくれると非常に助かると言います。この活動に対して、全体として月2万円の謝礼が支払われています。）



ホンダ販売店での洗車



一人一人の「やりたい」を形にしたら、「はたらく」だった —— 町田市・デイサービス DAYS BLG!

全国で始まる
取り組み

1



町田市のデイサービスDAYS BLG（以下、BLG）は、デイサービスを利用する認知症の人たちが地域へ出て仕事をしています。近くのホンダの販売店で展示用の車を洗車したり、野菜卸業者からの依頼で、兼務用の玉ねぎの皮むきをしたりと、地域の企業から仕事をうけ、有償ボランティアとして若干の報酬をもらっています。

この活動がスタートしたのは、代表の前田隆行さんが前の職場でしていた同様の活動も含めると12年前。認知症の人が地域へ出かけてはたらくという活動は、全国に先駆けられたものでした。

今では、認知症の人がはたらくデイサービスとして全国的に知られていますが、前田さんは、最初から働くとか仕事をするということを目的に

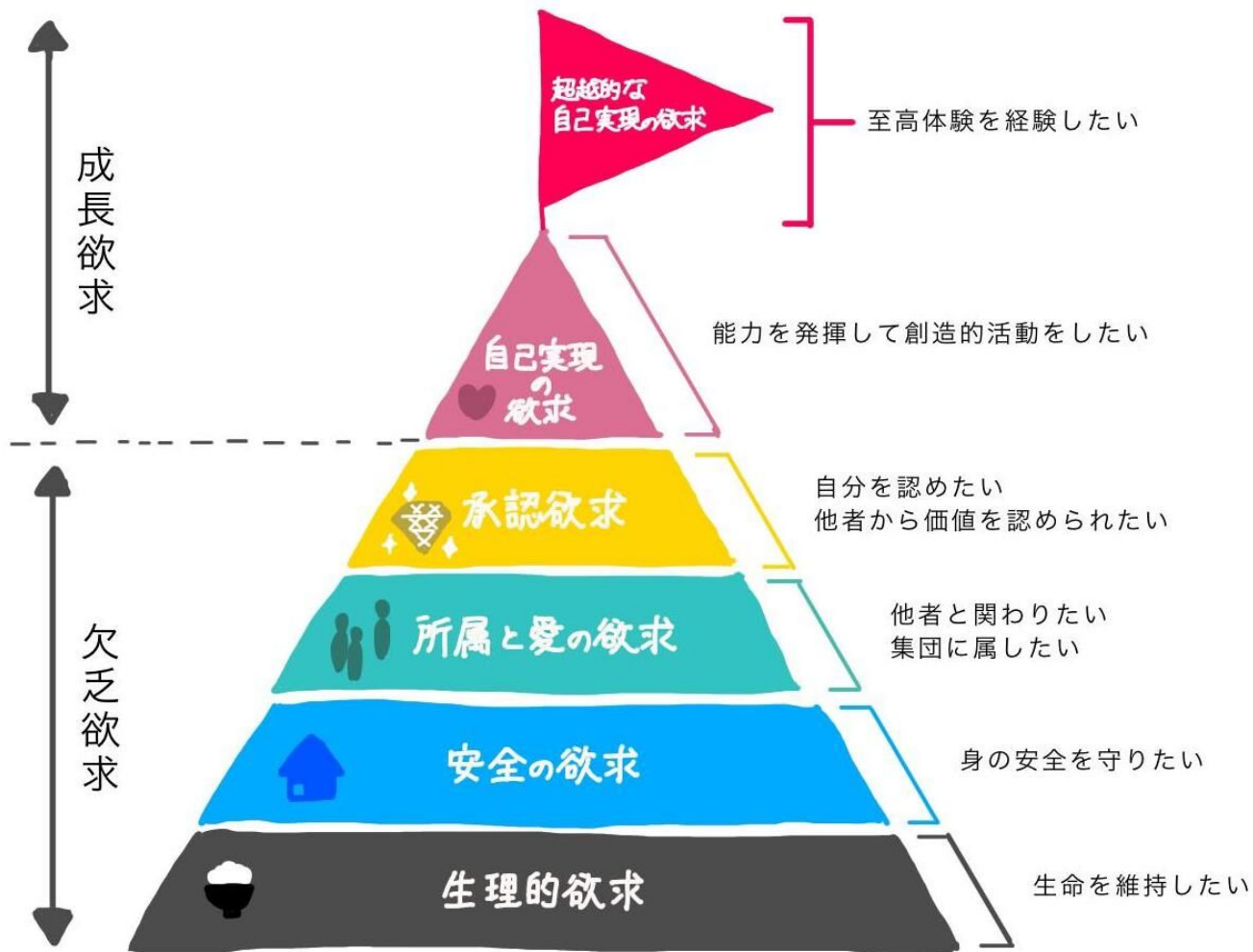
「一般的なデイサービスは、お茶を飲んだり、折り紙や、ゲームをしたりして一日を過ごすことが多いと思いますが、利用されている人の中にはそうしたことを楽しんでいない人もいます。当時利用されていた若年認知症の男性は、こんなところには居たくないと言っていたのでした。自分も同じ立場だった。確かにこの場所には居たくないと思いましたが、どうしたら、その人が居たいと思える場所になるだろうかと思えるうち

僕ボランティアを行なっているという位置づけ

前田さんは、「はたらく」とか「就労」というキーワードだけが一人歩きしてしまうのは危険だと指摘します。BLGでは、一人一人のやりたいことを実現する手段として、仕事があります。毎朝集まった時には、その日取り組むいくつかのことや取り組みがあり、どれをしてみたいかという話からスタートします。気分が乗らない場合は、室内でゆっくりしていてもよいと思います。やりたいを実現する中で、はたらくがあり、地域とのつながりがある、という流れが、もっと多くの地域に広がっていけばよいと思います」

そもそも「社会参加・活躍」とは

マズローの欲求5段階説



そもそも「社会参加・活躍」とは

社会参加・活躍は「だれのため」「なんのため」？



地域・社会



ご本人



経営者



ご家族



従業員

社会参加・活躍プロジェクト

1

そもそも「社会参加・活躍」とは？

2

様々なサービス種別での活躍実践事例

3

事業所（地域）での「ハタラク」の始め方

様々なサービス種別での活躍実践事例（地域編）



鉄棒のペンキ塗り

教育委員会と話し合い、地元の小学校で、鉄棒のペンキ塗りのほか、草拭き、あいさつ活動などを担っています



株式会社 ユニティ
(鹿児島県霧島市) 通所介護



まずは、身近なところから仕事を見つけていく

基本データ

- リハケアガーデンネクスト
(通所介護)
- 利用者数(1日平均)
3時間コース：18名
6時間コース：30名
- 平均要介護度
3時間コース 支援2～介護1
6時間コース 介護1～介護2

「外にでて活動することに対して、当初、ケアマネさんから怪我をしたらどうするのかなど危惧する声もありました。活動の内容をニュースレターにして届けたり、周囲の方たちにも理解してもらうようにしています。事業所の外と内で別れると、スタッフが不足するのではないかとという声もありましたが、事業所内に残る利用者さんにも、自分でできることは自分でやっていたいので、人員不足を感じたことはありません」



株式会社 ユニティ
代表取締役
瀧田桂太郎さん

が、有償のものも開拓し、働いている方たちの張り合いにつなげていきたいと思っています。」

現在は無償ボランティアという形でやっています。たちなどの人がいるので、交流も生まれています。

利用者が役割を持つて、できることを見つけていきたいということで、瀧田さんとスタッフの友人や同級生などのつながりで仕事をできる先を開拓してきました。現在、コンビニや自動車販売店の仕事や、弁当容器のスタンプ押し、小学校での清掃やあいさつ活動などをしています。こうした仕事を始めたことによる効果は大きく、要介護2だった人が、要介護状態から卒業した人もいます。当初、デイサービスの利用者だった人が卒業し、今度はデイサービスでボランティアとしてはたらくようになった人もいます。

「その人が本来できることまでしてしまつて、何かに挑戦しようという気持ちや身体機能も落ちてしまひ、介護がより必要になつてしまつという悪循環を断ちたいと思います」と瀧田さんは語ります。

鹿児島県霧島市にある通所介護事業所リハケアガーデンネクストでは、利用者の社会参加に力をいれてきました。代表の瀧田桂太郎さんは、以前、自分の祖父が通つていたデイサービスで、夕方になると多くの利用者が突っ伏している姿を目の当たりにして、自身で事業を始めることにしました。

様々なサービス種別での活躍実践事例（地域編）



鹿児島県霧島市の通所介護事業所「リハケアガーデンネクスト」では、利用者が、地域の小学校を訪問し、清掃や登下校時のあいさつ活動などを担っています。

様々なサービス種別での活躍実践事例（地域編）



様々なサービス種別での活躍実践事例（地域編）



様々なサービス種別での活躍実践事例（地域編）

認知症の人も参加した 地域再興

—— 奈良・追分梅林プロジェクト

奈良市追分地区は、かつて梅林で有名な観光地でしたが、地域住民が高齢化、梅林も放棄され、衰退の一途を辿っていました。地域の復興をしたいけれど、担い手がないという住民の悩みに行動を起こしたのが、認知症の人と支援者の

グループでした。難しい作業はできないけれど、体を動かすことならばと、放棄された土地を再び整備し、梅を植えていきました。こうした姿に感銘を受けた地元住民、大学、農業関係者なども加わり、現在この場所を拠点に、地域復興の様々な取り組みがスタートしています。



梅の収穫



特産品の加工



地域の人が集まるウッドデッキ

様々なサービス種別での活躍実践事例（事業所内編）



親子連れでにぎわうレストラン

同じ建物内には、ヨガや子育て関係のイベントなども開催されています。高齢者から子どもまでがまざりあう拠点になっています。



NPO法人 シニアライフセラピー研究所
(神奈川県藤沢市) 通所介護

様々なサービス種別での活躍実践事例（事業所内編）



様々なサービス種別での活躍実践事例（事業所内編）

グループ法人の中で、雇用や活躍の機会をつくる

—— 群馬・大誠会

群馬県・沼田市（人口4万9千人）で、病院や介護施設を運営する大誠会では、障害者や認知症の人の働く場づくりに積極的に取り組んできました。グループ全体で雇用する人は、およそ500名。グループの中で発生する仕事の一部を、障害者や認知症の人が担っています。内容は、車椅子の修理や農作業など多岐に渡ります。多くのケースは、ボランティアとしての参加ですが、仕事の内容によっては、報酬を支払うケースもあります。ある程度の規模の医療法人や社会福祉法人が地域の雇用の柱になっている地域では、1つのグループの中で、働く側と、仕事を発注する側の役割を同時に担うという事例は、比較的導入しやすい方法のひとつです。



施設で使用する車いすのメンテナンス



特産のリンゴを収穫して販売

様々なサービス種別での活躍実践事例（事業所内編）



子供の体操着入れや靴などの小物作り

中 区



花の寄せ植え

北 区

イベントで手作り体験



中 区

からあげクンの箱折り



東 区

社会参加・活躍プロジェクト

1

そもそも「社会参加・活躍」とは？

2

様々なサービス種別での活躍実践事例

3

事業所（地域）での「ハタラク」の始め方

事業所（地域）での「ハタラク」の始め方

みなさんは、どう生きたいですか？



尊厳や自己選択



制限（リスク）

リスク重視からの脱却

事業所（地域）での「ハタラク」の始め方

7つの力

特に個人と向き合う視点

地域共生を含む広い視点

管理者・経営者の視点

⑥地域での自立や参加につなげる力
(仲間づくり・地域共生の視点)

- スタッフへの教育力
- OJTのスキル
- ブランディング力
- 市/地域包括/CMとの調整スキル

場

や環境
に対して

③場を開発/
用意する力

④場を整える力

⑤本人と
場を
繋げる力

②本人の状態を
把握する力

本人
に対して

①本人の想いに
共感する力

⑦継続
する力

※本人の活動の
継続と事業所
自体の継続

①本人の想いに
共感する力

- 本人の想いや価値観、関心領域等に関するアセスメント力
- 傾聴と共感/情報収集のスキル

②本人の状態を
把握する力

- 本人の日常や活動等の能力に関するアセスメント力
- 認知機能、身体機能、ADL等に関する知見と見極めのスキル

③場を開拓/
用意する力

- 本人の望む活動の場や適した環境を事業所内外で開拓/用意する力
- 地域資源に関する情報収集と共通課題を抽出するスキル(営業力)

④場を整える力

- 本人の想いや能力が発揮されるように場を調整する力
- 柔軟な発想スキル(仲間づくりの場、居場所としての場、地域とのつながりの場へと変換するスキル)、家族との調整スキル

⑤本人と場を
つなげる力

- 場での活動や役割を分解する力
- 作業分解スキル
- 本人の想いや状態とマッチングさせる力、シミュレートする力
- マッチングとシミュレーションのスキル

⑥地域での自立や
参加につなげる力

- 機能や役割の回復とともに、本人/家族/スタッフ/地域の人のコミュニケーションを促し、仲間づくりと社会参加に位置づける力
- 地域共生の視点とファシリテーションのスキル

1 そもそも、何をすればいいのか？

ひと口に社会参加といっても、本人の想いや希望、要介護度も異なり、有償ボランティアから家庭内での役割や買い物等しごとのタイプも様々です。活動内容ありきではなく、本人との話の中から、想いと「やりたい」を実現するための活動を一緒に考えていきます。(P.09、P.16、P.17、P.18)

2 地域でしごとや役割を見つけるには？

利用者が得意なことやできることを起点に、地域の中でそれができる場所や仕事を発注してくれるところを探します。一般企業や商店、自治会などに尋ねてみることもできますし、関連法人などがあれば、そこで探すこともできます。最初は無償でスタートし、信頼関係を築く中で、謝礼を支払う有償ボランティアに移行するケースもあります。(P.07、P.13参照)

3 外に出て、人員は大丈夫？

従来の運営方法のまま、それに加えて、外に出る活動をするに介護スタッフが足りなくなるといった懸念もあります。しかし、実際に活動をしている事業所では、案内外でも、利用者によってできることを積極的にしてもらうことで、こうした問題は起こっていません。社会参加を進めていくには、「してあげる」型の運営体制から脱却する必要があります。(P.07、P.11参照)

4 謝礼が発生しても大丈夫？

介護保険サービスの利用者が、社会参加活動を通じて、有償ボランティアとして謝礼をもらうことは認められています。ただ、現段階ではそれほど多く事例がある訳ではないので、地域によっては前例がなく、消極的な解釈がなされる場合もあります。金銭などを発生させず、地域通貨のようなポイント制にする方法をとっているところもあります。(P.11、P.13参照)

5 家族・ケアマネ・保険者はどう思うだろうか？

社会参加活動は、自立支援という介護保険の本来の目的に沿ったもので、自治体の中には、積極的に推進しようというところもあります。ただ、活動内容によっては貴重な判断がなされる場合もあります。活動の目的や他の地域の事例なども伝え、丁寧にコミュニケーションをとることが大切になります。(P.19、P.21参照)

6 継続発展させていくには？

社会参加活動は、利用者の意欲や活動性がますます高くなります。介護サービスの利用時以外の、社会活動や就労などにつながるケースもあります。活動をより発展させていくために、就労継続支援との連携や、一般の企業活動の中に位置付ける動きもあります。(P.09、P.13、P.15参照)



「やりたい」を実現するまでの道のり

介護事業所の中には、「社会参加活動」と言われても、何をすればいいのかイメージできないところも少なくないと思います。全国の事例を通じて、利用者の参加・はたらくの実現・継続には、どのような道のりがあるのかをまとめました。



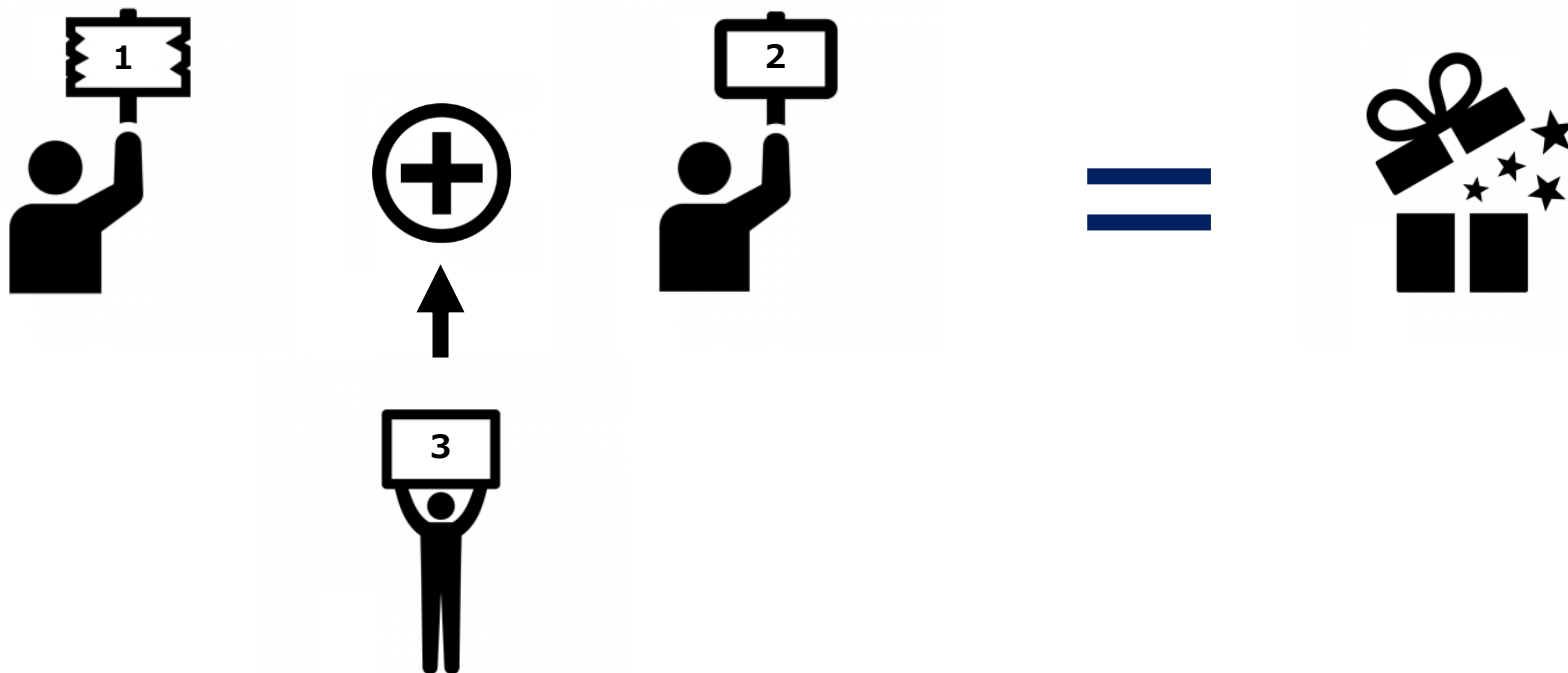
事業所（地域）での「ハタラク」の始め方

何となく気が進まない理由

- ・ 家族から
- ・ 介護支援専門員から
- ・ 主治医から

リスクを踏まえて、本人のやりたいから始める。

事業所（地域）での「ハタラク」の始め方



①本人のやりたいこと

②社会や団体、地域の困りごと、もっとこうなればいいなと思うこと

③専門職のサポートや情報収集・整理

事業所（地域）での「ハタラク」の始め方

知る楽しさをもっと。

やりとり手帳

写真

氏名

呼ばれた名前

ふりがな

1-5 わたしの足あと

わたしの足あと

時代 年	時代 年	時代 年	時代 年	時代 年	時代 年
主なできごと					

コメント

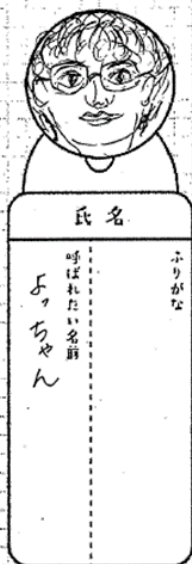
歴代の趣味とひとこと

伝えたいこと、メッセージなど

事業所（地域）での「ハタラク」の始め方

やりとり手帳

知る楽しさをもっと。



1-5 わたしの足あと

わたしの足あと

子供	小学	中学	高校	大学	社会	老年
1970年	1970年	1970年	1970年	1970年	1970年	1970年
主なできごと 新浜 生誕 6歳で 父他界	松原 小学校 戦時中	松林? 有さん せんた せんた あつた	松林へ いけ せんた あつた	27才 結婚 嫁さん せんた	父他界 不意に 明洋	1人暮らし
コメント 浜へ ちんぽ あつた 金へ あつた あつた	松林? 有さん せんた せんた あつた	松林へ いけ せんた あつた	夫やせし いん 漢師 大勢家族 いついせ あつた	夫やせし いん 漢師 大勢家族 いついせ あつた	夫やせし いん 漢師 大勢家族 いついせ あつた	夫やせし いん 漢師 大勢家族 いついせ あつた
歴代の趣味とひとこと 石ケリ かき水人 かき水人	石ケリ かき水人 かき水人	石ケリ かき水人 かき水人	石ケリ かき水人 かき水人	石ケリ かき水人 かき水人	石ケリ かき水人 かき水人	石ケリ かき水人 かき水人

伝えたいこと、メッセージなど

人生悔いなし

嫁さん

孫さん

人が来ると嬉しい

事業所（地域）での「ハタラク」の始め方

わたしの足あと

時代 年頃		時代 年頃		時代 年頃		時代 年頃		時代 年頃	
主なできごと		主なできごと		主なできごと		主なできごと		主なできごと	
していたこと （趣味や関心等）		していたこと （趣味や関心等）		していたこと （趣味や関心等）		していたこと （趣味や関心等）		していたこと （趣味や関心等）	
その頃の自分に一言		その頃の自分に一言		その頃の自分に一言		その頃の自分に一言		その頃の自分に一言	
全体的に伝えたいことやメッセージ									

事業所（地域）での「ハタラク」の始め方

わたしの好きなもの

記入日 年 月 日

●趣味・特技	●好きな本・映画・テレビ
●座右の銘	●好きな食べ物
●好きなスポーツ	●思い出の味
●好きな音楽	●好きな動物
●好きな色・におい	●好きなもの・興味があること
●行きたい場所	●大切にしていること
●わたしの好きな時間の過ごし方	

人生の歩み

記入日 年 月 日

●誕生時（出生地） ※両親や兄弟、名前の由来など	●幼少期の思い出 （過ごした土地）
●青春の思い出 （過ごした土地）	●その他の時代 （過ごした土地）
●学歴	●職歴
●わたしのふる里	●大切な思い出

事業所（地域）での「ハタラク」の始め方

地域を（利用者と）共に歩いてみることから始めよう。

事業所（地域）での「ハタラク」の始め方

これから事業の中で整理していくこと

- ☑ 職員への周知、理解の促しは？
- ☑ 家族やケアマネへの説明の仕方は？
- ☑ どの時間帯に活動（ハタラク）を実施するのか？
- ☑ ケアプラン（介護計画書・個別機能訓練計画書等）
の中でどう位置付ければよいのか？
- ☑ 働く場所（企業）の探し方は？ポイントは？
- ☑ 作業中に事故（破損）があった場合の対応は？



事業所（地域）での「ハタラク」の始め方

私たちが

できるか できないか ではなく

本人が

やりたいか、やりたくないか である。

「次の当たり前」をつくろう！

どんなに夢だ、未来だ、と騒がれた先端技術も、やがて見慣れた風景になる。
それでいい。

私たちの仕事は、人々の暮らしを支える当たり前をつくること。
これまでの30年も、これから先も。
変えたかったのは、歴史じゃない。日常だ。